



何をした？

全国の更生保護施設に対し、自社製品（身だしなみ用品、キッチン用品等）を寄付。

最初のきっかけは？

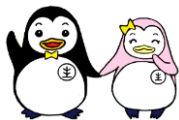
社員の一人が、更生保護関係者である知人から更生保護の取組について聞き、知ったことが最初のきっかけ。そこから、自社製品を社会に貢献する形で有効活用できないか…と考えるように。

取組開始の理由は？

更生保護分野との連携は、社会的に必要な取組であると認識したため。
また、「身だしなみを整える」という自社事業に関する啓発活動を通じて社会貢献をしたいと考えたため。

どんな風に？

2024年度から実施方法等について法務省保護局と相談を開始し、2025年度に全国の更生保護施設への寄付が実現。



貝印から企業の皆さまへ

私たちが提供した身だしなみ用品やキッチン用品は、日々の暮らしの質を高め、自立への自信を育む一助となります。企業として経済活動を行う一方で、こうした「再出発の機会」を支えることも、持続可能な社会を創るための重要な役割であると実感しています。支援の形はさまざまです。一つひとつの企業の小さな一歩が、安全で安心な地域社会の構築につながります。ぜひ、多くの企業様と共にこの活動を推進していければ幸いです。



更生保護施設への自社製品の寄付



- 全国100か所の更生保護施設に、入所者が利用可能な身だしなみ用品（カミソリ、ヘアゴム等）や、キッチン用品（調理員が使用するための包丁、ピーラー等）などを寄付。



- 寄付を受けた更生保護施設では、入所者や調理員等に対して物品を贈呈。



- 更生保護施設からは、「カミソリやヘアゴムといった身だしなみ用品は、更生保護施設入所者が身だしなみを整えるための生活必需品となっている」「包丁やピーラーのようなキッチン用品は、調理員の日々の食事作りや、更生保護女性会主催の食事会での調理場面などで活用されている」
…などの声が届いている。